

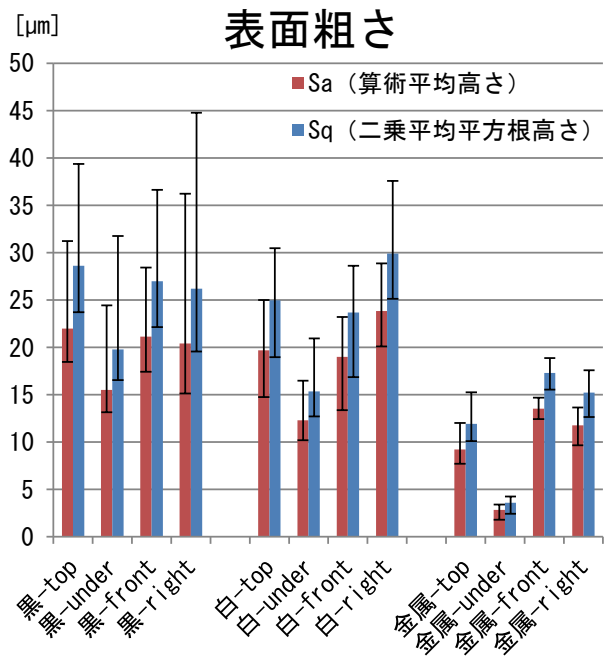
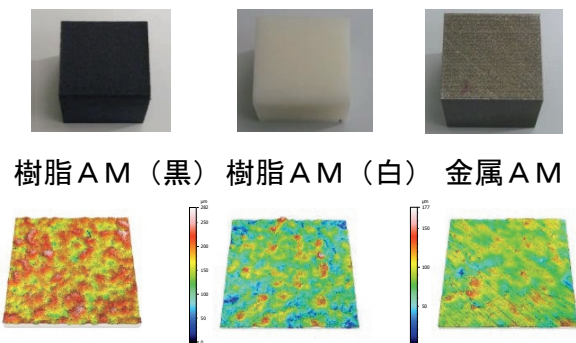
AMによる造形品の 表面性状評価

城南支所 古杉 美幸
TEL : 03-3733-6233

AM造形品の高付加価値化が求められている。そこで解決しなければならない課題の一つである表面性状を最新の規格に沿った表面性状パラメータを使用して評価した。

内容・特徴

- 樹脂（ナイロン）および金属AMの表面性状を非接触式の三次元表面形状測定機を使用して計測
- 一般的に有名なSa（算術平均高さ）に限らず、他の表面性状パラメータを利用して、AM造形品の表面凹凸形状がどの様になっているか詳細に把握



従来技術に比べての優位性

- AM造形品の表面凹凸形状をより詳細に把握
- 二次元表面性状パラメータだけでなく三次元表面性状パラメータでも評価

予想される効果・応用分野

- AM造形品の試作品や実製品化に対しての高付加価値化が実現
- 表面凹凸形状を二次元表面性状パラメータと三次元表面性状パラメータで評価できる

提供できる支援方法

- 共同研究
- 技術相談
- オーダーメイド開発支援

知財関連の状況、文献・資料

文献・資料

- [1]JISB0601：製品の幾何特性仕様（GPS）—表面性状：輪郭曲線方式—用語、定義及び表面性状パラメータ
- [2]JISB0681-2：製品の幾何特性仕様（GPS）—表面性状：三次元—第2部：用語、定義及び表面性状パラメータ

共同研究者 小林隆一（3Dものづくりセクター）、千葉浩行（3Dものづくりセクター）